

フィニス・テラ大学での日本文化紹介事業「チリと日本：時を超えた出会い」

令和6年（2024年）4月10日

1 「チリと日本：時を超えた出会い」オープニング式典

3月20日、フィニス・テラ大学中央ホールにおいて、日本の四季と文化を共有する文化事業「チリと日本：時を超えた出会い」のオープニング式典を開催し、伊藤大使、フィニス・テラ大学のナセル学長に加え、同大学幹部・関係者、一般市民、多くの学生が参加しました。



（左から）講演者のチャンディア氏、
伊藤駐チリ日本大使、ナセル学長、
アルベルト・ロハス氏



伊藤大使による開会挨拶

同イベントは、日本の四季や慣習を伝える展示と4回にわたる講演会からなり、展示会のオープニング式典の後に実施された第1回講演では、マルセラ・チャンディア日本語・日本文学教師が、日本文学と四季の関係について紹介しました。



展示会のオープニング式典



展示会場の様子

2 日本関係識者による4回講演会

3月20日以降も、3回の講演会が毎週水曜日に異なる講師によりオンラインで実施され、いずれも当初想定された参加者数を上回る聴講者がありました。



チャンディア講師によるオープニング講演



第1回講演への参加者

- (1) 3月20日 「四季と日本文学」
マルセラ・チャンディア日本語教師
- (2) 3月27日 「毎年祝われる日本の伝統文化」
ユキ・ウチムラ・バルパライソ日系人協会元会長
- (3) 4月3日 「新進的日本の書道～墨人会」
メグミ・アンドラーデ・コバヤシ・フィニス・テラ大学広報出版ディレクター
- (4) 4月10日 「日本：過去、現在そして未来」
アルベルト・ロハス同大学国際情勢研究部長、ジャーナリスト



ウチムラ氏による第2回講演会



アンドラーデ氏の書道講演



EXPONE
Alberto Rojas M.
Director del Observatorio de Asuntos Internacionales
de la Universidad Finis Terrae.

アルベルト・ロハス氏